



緑小だより

<http://members2jcom.home.ne.jp/midorisho-sumida/>

平成28年5月2日

墨田区立緑小学校

校長 保坂 登

大きくなったら… (各家庭の魔法の言葉とは?)

副校長 佐藤 公信

「大きくなったら、今度は教えていくようになる。」

私が小学生の頃、祖母から言われた言葉です。炊飯器のご飯をしゃもじでとって、皿に移す仕事をしました。自分としては、とても苦勞して、一生懸命やったのですが、お釜にはご飯粒が所々残ったまま、お釜を水に浸してしまったのでした。それを見た母からは、「何、こんなにいっぱいご飯粒を残して。もったいない。」と叱られました。その後、祖母から上の言葉が出たのでした。

その時、私は、叱られずにほっとしたと同時に、ご飯粒を一粒も残さずに取りこなんで、とても無理だと思いました。ましてや、人に教えていくなんてとんでもないことでした。しかし、不思議なことに、何度か繰り返していくうちに、やがて、ご飯粒を一粒も残さずに取りれるようになりました。そして、今度は逆に、ご飯粒が残っていると、違和感を覚えるようにすらなってきました。自分の変容ぶりが、自分自身でもはっきり分かりました。祖母の言葉は、とても短いものでしたが、遠回しにやる気を起こさせる、まさに魔法の言葉であったと思います。今でも、まだ心に残っています。

物事を成し遂げる過程で、人は苦勞したり、悩んだりすることがあります。そんな時、回りの大人がすぐに手助けするのではなく、子供の力をよく見極めて、どんな時に、どのような手助けや声かけが有効なのかを考えることが大切だと思います。つかず、離れず、適切な関わりをすることが、子供を大きく成長させるのではないのでしょうか。

しかし、自分に置き換えてみますと、私自身、自分の子供に対して過干渉であったり、無関心であったり、なかなかうまくできません。保護者の皆様も、きっと同じような悩みを抱えておられることと思いますが、適度な距離を保ちながら各家庭の魔法の言葉を見つけて、子供と接していくというのはいかがでしょうか。

緑小学校新職員紹介

樋口 努 教諭

在外派遣教員として、タイ・バンコクで3年間の勤務を終えて緑小学校に戻らせていただきました。これまでの経験を生かして、緑小学校を更に盛り上げていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

吉田 博太郎 教諭

4/18 付で着任しました。元気で素直な子供たちと出会えたことがとても嬉しいです。緑小学校の子供たちが楽しく過ごせるように、全力で努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

柳 郁子 教諭

千代田区の和泉小学校から参りました。明るく、元気いっぱいの緑小学校の子どもたちに出会えたことを、とてもうれしく思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

飯嶋 瑞貴 事務主事

この度、事務主事として赴任しました。まだ慣れないこともありますが、子どもたちや先生方のサポートができるようがんばっていきますので、よろしくお願いいたします。

小 1 問 題

1 年学年主任 江幡 みき

天気に恵まれた入学式から、もうすぐ1ヶ月が経とうとしています。1年生87名は毎日元気いっぱい登校しています。

幼稚園や保育園での園生活とは生活リズムも活動内容も違うことが多く、戸惑う児童も多いと言われていています。授業中、勝手に立ち歩いたり教室から出て行ったりする、教師の話を聞かない、指示通りに行動しないなどの状況を「小1問題」と定義しています。(平成25年3月 東京都教育委員会)

緑小では1年生の児童がスムーズに学校生活が送れるよう、幼稚園・保育園からの情報も活用して、入学当初は1時間の中でも集中して取り組めるよう時間を区切り(動→静→動)活動しています。また、毎朝、校門や各教室で教員が児童を迎えるようにするなど、児童に関わる時間を確保しています。

てっぺん

生活指導主任 阿久澤 友孝

昨年度末の「よりよい学校生活のために」や新1年生保護者会でお伝えした、子供の学用品についてのお願いは“キャラクターもの禁止”等の細かなものでしたが、多くのご家庭で早々に対応していただき、ご協力ありがとうございます。地域・家庭・学校が一体となって緑の子供を育てる。これは皆様の理解と協力なしには成立しません。今後ともどうぞよろしくお願ひします。

<上手なあいさつ>

- *立ち止まり
- *おじぎをして
- *元気な声で

あいさつの最上級（てっぺん）を目指してみよう！

プラス
+ ①笑顔で ②相手の目を見て ③相手の名を呼び

<ヘルメットの着装>

人のてっぺん（＝頭）を守るはとても大切です！

自転車に乗るときのヘルメット、墨田区は装着率がとても低い現状です。ヘルメットをかぶらせる、これは保護者の『努力義務』です。

家庭学習について

学力向上担当 樋口 努

いつも、お子様の音読や計算ドリルの答え合わせなどを見ていただき、ありがとうございます。学力向上担当の樋口と申します。家庭学習のねらいは、

- ① 時間を決めて学習習慣を身に付ける。
- ② 復習することで自分の理解度を深める。
- ③ 自分の得意分野の能力を伸ばす。（家庭学習のしおりの空欄には、基礎・基本の内容でもよいですが、発展や関心がある内容でもよいです。←個別の課題）

であると考えます。

進級すると前学年までに身に付けた知識を活用した学習が始まります。是非、分らないことを、分らないまま残すのではなく、家庭学習を活用して、次の日には先生に質問できるように声をかけてあげてください。

次に、家庭学習の充実は、獲得した知識の活用につながります。知識を活用することは毎日の生活に学習が活かされることとなります。漢字を繰り返し練習するだけでなく、一行日記から始めて必要な漢字を使う。また、中・高学年になれば、国語や算数だけでなく、理科の昆虫レポートや社会の調べ学習(TPP とは何か)など、自分が興味あることを勉強して得意分野をもつことも家庭学習と考えます。21.5 世紀に向けて、学ぶ意欲を高めたり、得意分野をつくったりしたいと考えます。

行事予定 5月

1	日	
2	月	遠足（5・6）
3	火	憲法記念日
4	水	みどりの日
5	木	こどもの日
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	避難訓練（集団下校訓練） 運動会特別時間割開始 5時間授業 運動器機検診（6）
10	火	内科検診（1・2） すみだいじめ防止の日
11	水	安全指導 午前授業 尿検査2次 聴力（特）
12	木	ペア学年活動 運動器機検診（5）
13	金	消防写生会（1・2） 聴力（3） 委員会②
14	土	
15	日	
16	月	運動会係活動6校時 聴力（5）
17	火	内科検診（5・6）
18	水	幼保小中連携（両中） 午前授業 聴力（2）
19	木	聴力（1）
20	金	心臓検診（1） クラブ②
21	土	セーフティ教室
22	日	
23	月	運動会係活動6校時
24	火	運動会全体練習①
25	水	運動会全体練習② すみだ区家庭の日
26	木	運動会全体練習③
27	金	運動会全体練習予備日 運動会前日準備
28	土	運動会 学校公開日
29	日	運動会予備日
30	月	振替休業日（5/28）
31	火	

予定は変わることがあります。各学年の詳しい内容は学年便りをご覧ください。

※毎月10日は、「すみだいじめ防止の日」

25日は、「すみだ区家庭の日」です。

※スクールカウンセラー（SC）は、原則として、火曜日（佐川カウンセラー）と金曜日（小野田カウンセラー）に勤務しています。面談等を希望する方は、直接、SCにご連絡ください。

※ネイティブ・ティチャー（NT） 主に火曜日、木曜日に勤務しています。